

# 日本鹿研究投稿規定

2009年7月1日施行

2013年5月1日改定

2022年7月24日改定

- (1) 本誌は日本および世界の鹿の生態、飼養技術、資源活用、獣害対策、経済、社会、文化等に関する論文、研究ノート、調査研究、報告（調査、技術、現地、活動など）、総説、解説、エッセイおよび書評などを掲載する。投稿者が該当する種類を執筆者連絡票に明記すること。
- (2) 論文および研究ノート、調査研究については編集委員会により審査を行う。その他の原稿の取り扱いについては、編集委員会に一任のこと。
- (3) 原稿の言語は、日本語と英語とする。原稿には、表題、著者名および所属機関名（所在地）、次いで英文の表題、著者名、所属機関名（所在地）をつける。また論文、調査研究には英文要約をつけ、それぞれ和文、英文のキーワード（5ワード以内）を書く。その他については、この限りではない。
- (4) 原稿用紙はすべてA4版とし、上下20mm、左右22mmの余白を空け、和文の場合は横書きで2段組23字×40行、英文の場合は65字×25行を標準とする。
- (5) 原稿の長さは、原則として論文・ノートでは刷上り8頁以内、その他では5頁以内とする。
- (6) 和文原稿はひらがな、新かな遣い、常用漢字を用いる。なお、エッセイなどは、この限りではない。
- (7) 本文の見出しは、章：I. □□□□□□、節：1. □□□□□□、項：(1) □□□□□□、小項：1) □□□□□□の順とする。なお、章が変わるときは1行空けて見出しを書く。
- (8) 本文を改行するときは、和文の場合1字空け、英文の場合は3字空けて書く。
- (9) 句読点などは、「、・；：」「（）-」を用い、行末にはみ出す句読点および括弧は行末に書く。
- (10) 年号は、元号の後に可能な限り西暦を付記する。例：明治43（1910）年
- (12) 図表および写真は本文中に挿入し、別途、別ファイルにもまとめて提出する。
- (13) 引用文献は、本文中での引用順に片括弧付きの番号を付して記載する。
- (14) 引用文献リストは、本文の後に番号順にまとめて記載する。
- (15) 初校は、著者が行うことを原則とする。
- (16) 別刷代は著者負担とする。
- (17) 原稿は、〒438-8577 静岡県磐田市富丘 678 の1 静岡県立農林環境専門職大学短大 小林研究室内 全日本鹿協会編集委員会 kobayashi.shinichi@spua.ac.jp にファイル添付で送付すること。